

## 事業の背景・目的

本事業は、鴻巣市コウノトリ野生復帰センターを拠点に、絶滅危惧種であり国の特別天然記念物でもあるコウノトリの飼育・繁殖・放鳥を行なうことにより、コウノトリの野生復帰の取組み、とりわけ関東地域における野外個体群の復元への貢献を目指すものである。

令和4年度は、コウノトリの生息環境改善の効果検証のため、採餌環境を基準とした「モニタリング調査」や、コウノトリ野生復帰センターを拠点とした普及啓発事業を行う。

## 事業の内容

### 事業① 生息環境改善事業

・市民グループ、農家等と協働により、市内公園予定地の一部を活用し、湿地の再生活動を試行的に実施した。

・水稻農家、埼玉県水産研究所と協働によるギンブナ等在来種を増やす活動を実施した。

### 事業② 普及啓発事業

・「コウノトリ」をキーワードとした環境学習プログラムを、コウノトリ野生復帰センター、市内小学校への出張授業により実施した。



### 事業③ 生きもの等モニタリング調査事業

・コウノトリの生息環境改善の効果検証のため、採餌環境を基準とした「モニタリング調査」を実施した。

・調査は、保全協力体制の構築・強化の一環で、NPO等を含めた市民参加型により実施した。

## 得られた成果

- ・市内中学校の使用しなくなったプールを活用して実施した「浮島植生づくり体験」には、中学3年生67名が参加し、水辺環境の生物多様性に対する活動も行われた。
- ・本交付金事業終了後も、保全計画に基づいた環境改善の取組みや、効果検証も兼ねた生きもの等モニタリング調査については、市民グループ等の参加を得て、「地域活動」としての継続的に実施していく。
- ・生物多様性地域連携促進法に基づく体制を構築することにより、市民、NPOや企業、農業者や商工業者、学校等を連携させ「多様な参加者による生物多様性の回復・保全活動」を継続していく。